

SR235

EN013U070 (2107M-BC-1)

- ① [SET] ボタンを押しながら電源を入れ、[] または [SET] ボタンで変更する機能を選び、[CUE] ボタンを押します。
- ② 次に [] または [SET] ボタンで変更したい内容を選び、[CUE] ボタンを押して確定します。
- ③ PTT (通話) スイッチを押すと設定が完了してチャンネル表示画面に戻ります。

項目	機能	選択可能な項目 (太字は出荷時の設定)
 P	グループ機能の ON/OFF “ON” にすると、グループコードが一致した場合のみ音声聞こえるようになります。他のグループの通話が聞こえてわずらわしい時に使用します。	ON / OFF
 C	グループコード 上記のグループ機能動作時のグループコードを設定します。	GP01 ～ GP50 D017 ～ D754
 EP	ビープレベル トランシーバーの操作を行った時に鳴るビープ音の音量を調節します。 1 / 2 / 3 : 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。 L1 / L2 / L3 : 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。また音量ツマミに連動してビープの音量が変わります。 OFF : ビープ音は鳴らなくなります。	OFF 1 / 2 / 3 L1 / L2 / L3
 SP	画面表示の設定 ON : 常に画面は表示された状態になります。 2 : トランシーバーの操作が終わってから約 2 秒後に画面の表示が “—” になります。トランシーバーの操作を行うと再び画面が表示されます。	ON / 2
 MP	バックライトの ON/OFF 2 : 各ボタンを押すと画面の照明ランプが約 2 秒間点灯します。 OFF : 照明ランプが点灯しなくなります。	OFF / 2
 T	PTT (通話) スイッチの動作設定 NOR : PTT スイッチを押している間送信状態になります。 HOLD : 一度 PTT スイッチを押すと、再び PTT スイッチを押すまで送信状態を続けます。 OFF : PTT スイッチが無効になり、送信できません。	OFF / NOR / HOLD
 BP	送信開始 / 終了ビープ音の ON/OFF END : 送信を終了した時に “ブツ” というビープ音を鳴らします。 STRT : 送信を開始した時に “ビツ” というビープ音を鳴らします。 BOTH : 送信を開始した時と終了した時にビープ音を鳴らします。 OFF : ビープ音は鳴りません。	OFF / END / STRT BOTH
 CG	マイク感度 マイクの感度を調節します。設定値が大きくなるほど感度が上がります。	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6
 TM	セットモード拡張表示 EASY : “GRP” ～ “SETM” の項目のみ表示されます。 ALL : 下記の “ARTS” 以降の項目も表示されて設定することができます。	EASY / ALL
下記の “ARTS” 以降の項目は、ここの設定を “ALL” にすると表示されます。		

 TS	ARTS 機能の ON/OFF “ON” にすると、相手と通話可能な状態かを自動で確認します。	ON / OFF
 BK	コールバック機能の ON/OFF “ON” にすると、相手と通話可能な状態かをビープ音と画面の表示で確認できます。コールバック機能を使用する時は、グループ機能 (GRP) を “ON” にしてください。	ON / OFF
 RN	スキャン機能の ON/OFF ON : [] または [ SET] ボタンを約 1 秒以上押すとチャンネルが自動で変わり続け、信号のあるチャンネルで停止します。 OFF : [] または [ SET] ボタンを押している間だけ、チャンネルが変わり続けます。	ON / OFF
 O	オートパワーオフ 一定時間何も操作を行わないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源が切れます。 2H/8H : 約 2 時間 (2H の場合) または約 8 時間 (8H の場合) 経過すると、自動で電源が切れます。 OFF : 自動で電源は切れません。	OFF / 2H / 8H
 J	LED インジケータの ON/OFF “OFF” にすると、LED インジケータが点灯しなくなります。	ON / OFF
 MP	コンパンダ機能の ON/OFF “ON” にすると、相手が話している時に聞こえる「サー」というバックノイズを低減し、相手の声を聞き取りやすくします。相手のトランシーバーもコンパンダー機能を “ON” にしてください。	ON / OFF
 GC	エマージェンシー機能の動作設定 ALAM : アラームを鳴らして緊急を知らせます。 CH : 緊急連絡用のチャンネルに切り替わります。 CL : アラームを鳴らすと同時に、自動で送信状態になります。 CL-LT : アラームを鳴らすと同時に、自動で送信状態になり、LED インジケータが点滅します。	ALAM / CH / CL CL-LT
 SET	チャンネル番号表示方法設定 NOR : 01 ～ 11、1 ～ 9 (通常通話用チャンネル)、12 ～ 29、10 ～ 18 (中継用チャンネル) で表示します。 CMN : 01 ～ 20 (通常通話用チャンネル)、01 ～ 27 (中継用チャンネル) の連続した番号で表示します。	NOR / CMN

項目	機能	選択可能な項目 (太字は出荷時の設定)
 CH	中継器用チャンネルの ON/OFF OFF : 中継専用のチャンネルは表示されません (中継器を使用できません)。 ON : 中継専用のチャンネルが表示されるようになります (中継器を使用できます)。	ON / OFF
 PD	送信出力の切替 (12 チャンネル～29 チャンネルのみ有効です) 10 : 送信出力が 10mW になります。連続して送信できる時間は 3 分間です。 1 : 送信出力が 1mW になります。時間制限なく連続送信できます。	1 / 10
 P	“RPCH” の設定が “ON” の時に表示されます。 ファスト接続機能の ON/OFF 当社のファスト機能対応中継器を使用して中継通話を行う時、中継器との接続時間を短縮できます。中継器側のファスト機能も “ON” にする必要があります。 NOR : ファスト機能を使用しないで中継通話を行います。 QK : ファスト機能が動作して、中継器との接続時間を短縮できます。	NOR / QK
 LC	個別呼び出し機能の ON/OFF と運用できる最大局数 20 : 個別コード “01” ～ “20” までの 20 局 99 : 個別コード “01” ～ “99” までの 99 局 OFF : 個別呼び出し機能は動作しません。	OFF / 20 / 99
 SET	個別呼び出し機能運用時の個別コードの設定 自分の呼び出し ID 番号を選択します。	01 ～ 20 または 01 ～ 99 (上記 SELC の設定による)
 P	“SELC” の設定が “OFF” 以外の時に表示されます。 個別呼び出し機能運用時のグループコードの設定 自分の呼び出しグループ番号を選択します。	G0 / G1 / G2 / G3 / G4 G5 / G6 / G7 / G8 / G9
 EP	個別呼び出し機能運用時の着信音の設定 1 / 2 / 3 : 着信音が鳴るパターンを 3 種類から選べます。ALL で呼ばれた時は、着信音は鳴りません。 OFF : 着信音は鳴らなくなります。	1 / 2 / 3 / OFF
 CH	オートチャンネルセレクト機能 “ON” にすると、PTT (通話) スイッチを押した時に、使用されていないチャンネルを自動で探して相手局と交信できます。	ON / OFF
 L	スケルチレベル 信号が入感していない時の耳障りな「ザーツ」というノイズを消します。数値が大きくなるほどノイズは消えやすくなりますが、弱い電波が入感しなくなることがあります。	1 / 2 / 3 / 4
 SG	[CUE] ボタンの動作が CU-CS、またはファンクションボタンの動作が FN-CS の時に表示されます。 コールサイン機能の電子音の回数設定 コールサイン機能で相手呼び出す時の、電子音が鳴る回数を選択します。	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6
 MG	外部マイク感度 SP/MIC 端子に接続したオプションのタイピンマイク、ヘッドセット、スピーカーマイクの感度を調節します。 =MG : トランシーバー本体のマイク感度 (MICG) と同じ感度になります。 1 ～ 6 : 数値が大きくなるほど感度が上がります。	=MG / 1 / 2 / 3 4 / 5 / 6
 CH	サブチャンネルセレクト機能の ON/OFF “ON” にすると、送信しようとしたチャンネルが使用中の場合、あらかじめ決めておいた他のチャンネル (サブチャンネル) に自動で切り替わります。	ON / OFF
 CH	サブチャンネルの設定 サブチャンネルセレクト機能で使用するチャンネル、マルチチャンネル待ち受け機能時に送信するチャンネル、またはデュアルレシーブ機能で受信するチャンネルを選択します。	1 / 2 / 3 / 4 / 5 6 / 7 / 8 / 9 01 ～ 11
 GP	グループコードの設定 上記の “サブチャンネルの設定” で選択したチャンネルで使用するグループコードを選択します。	GP01 ～ GP50 D017 ～ D754
 EK	スピーカー断線検出機能の ON/OFF “ON” にすると、SP/MIC 端子に接続したオプション類のスピーカーが断線している場合、電源を入れた時に “SP-ER” を画面に表示して LED インジケータがオレンジ色で点滅します。	ON / OFF
 R	秘話機能の ON/OFF 1 / 2 / 3 : 秘話機能を設定していないトランシーバーでは通話内容を聞き取りにくくなります。同じチャンネルで秘話機能を動作させていると、通話内容を聞かれる場合がありますのでご注意ください。 OFF : 秘話機能は動作しません。	OFF / 1 / 2 / 3
 TH	Bluetooth® 機能の ON/OFF ON : Bluetooth® 機能が動作し Bluetooth® ヘッドセットを使用できます。 OFF : Bluetooth® 機能は動作しません。 SAVE : Bluetooth® 機能が動作し、更に Bluetooth® ヘッドセットのバッテリー消費を少なくすることができます。	OFF / ON / SAVE

項目	機能		選択可能な項目 (太字は出荷時の設定)
 BT ^{-SET-} MG	“BLTH” の設定が “ON” または “SAVE” の時に表示されます。 “BLTH” の設定が “ON” または “SAVE” の時に表示されます。	Bluetooth® マイク感度 Bluetooth® ヘッドセットのマイク感度を調節します。 =MG : トランシーバー本体のマイク感度 (MICG) と同じ感度になります。 1 ～ 6 : 数値が大きくなるほど感度が上がります。	=MG / 1 / 2 / 3 4 / 5 / 6
 BT ^{-SET-} MC		Bluetooth® メモリークリア “CLR” を選んで PTT (通話) スイッチを押すと、既にペアリングしてある Bluetooth® ヘッドセットの情報を消去します。	KEEP / CLR
 VO ^{-SET-} H	VOX 機能の ON/OFF と感度調整 話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると自動的に受信状態に戻る VOX 機能を ON/OFF します。 VOX 機能はトランシーバー本体のマイクおよび Bluetooth® ヘッドセット SSM-BT10 でのみ動作します。 1 ～ 7 : VOX 機能が動作します。1 ～ 7 の数字は送信状態になる感度で、周囲の騒音が大きく話をしていないのに送信状態になる時は感度を下げて (設定の数値を小さく) ください。 OFF : VOX 機能は動作しません。		OFF / 1 ～ 7
 DL ^{-SET-} RY	“VOX” の設定が “OFF” 以外の時に表示されます。	VOX 遅延時間 VOX 機能動作時、話をやめてから受信状態に戻るまでの時間を設定します。数値を大きくするほど受信状態に戻るまでの時間が長くなります。	05 (0.5 秒) / 10 (1.0 秒) 15 (1.5 秒) / 20 (2.0 秒) 25 (2.5 秒) / 30 (3.0 秒)
 SS ^{-SET-} AV	スーパーバッテリーセーブ機能の ON/OFF “ON” にすると、送信も受信もしていない時にバッテリーの消費を更に抑えてバッテリーを長持ちさせます。		ON / OFF
 LO ^{-SET-} BT	バッテリー低電圧警告機能 ON : 電池が消耗して電池マークが点滅表示になると、約 10 分毎にビープ音を鳴らします。 OFF : 電池が消耗しても、警告は行いません。		ON / OFF
 CB ^{-SET-} P	CUE アラーム音の設定 CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音のパターンを A、B、C の 3 種類から設定します。 SP A / SP B / SP C : イヤホンやヘッドセットを接続していても、スピーカーからアラームが鳴ります。 A / B / C : イヤホンやヘッドセットを接続している時は、スピーカーからはアラームは鳴りません。		SP A / SP B / SP C A / B / C
 CV ^{-SET-} OL	CUE アラーム音量設定 CUE 信号を受信した時のアラームの音量を設定します。 1 / 2 / 3 : 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。 OFF : アラーム音は鳴らなくなります。		OFF / 1 / 2 / 3
 CL ^{-SET-} ED	CUE 受信時の LED 設定 CUE 信号を受信した時の、LED インジケータの状態を設定します。 1 : 点灯します。 2 / 3 / 4 / 5 : 点滅のしかたが異なる 4 種類から選べます。 OFF : 点灯や点滅はしなくなります。		OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5
 SK ^{-SET-} PT	マルチチャンネル待ち受け機能時のスキップタイム 一時的に待ち受け受信の対象を外した時、再び待ち受け受信の対象になる条件を設定します。 3MIN : 3 分経過するか電源を切るまで待ち受け受信対象から外れます。3 分経過するか再び電源を入れると待ち受け受信の対象に戻ります。 POFF : 電源を切るまで待ち受け受信の対象から外れます。再び電源を入れると待ち受け受信の対象に戻ります。		3MIN / POFF
 TX ^{-SET-} CH	マルチチャンネル待ち受け機能時の送信チャンネル LSTB : 最後に通話または表示したチャンネルで送信します。 S-CH : サブチャンネルの設定 (S-CH) で設定したチャンネルで送信します。 DR : 表示されているチャンネルとサブチャンネルの設定 (S-CH) で選択したチャンネルを交互に受信する “デュアルレシーブ機能” が動作します (相手と同じグループコードを S-GP に設定してください)。 RSSI : 将来の機能拡張のための項目です。		LSTB / S-CH DR / RSSI
 TO ^{-SET-} NE	秘話機能が動作しているときは表示されません。	音質切替 NOR : 標準的な音質になります。 HIGH : 高域が強調された音質になります。	NOR / HIGH
 LO ^{-SET-} NE	ローンワーカー 一定時間トランシーバーの操作が行われなかった時に、エマージェンシー機能を自動的に動作させることができます。 OFF : ローンワーカー機能は動作しません。 05 / 1 / 2 / 4 : 30 分 (05 の場合) / 1 時間 (1 の場合) / 2 時間 (2 の場合) / 4 時間 (4 の場合) トランシーバーの操作が行われないと、エマージェンシー機能が動作します。		OFF / 05 / 1 / 2 / 4
 MAN ^{-SET-} ND	マンダウン トランシーバーが一定時間約 60 度以上傾き続けた時に、エマージェンシー機能を自動的に動作させることができます。 OFF : マンダウン機能は動作しません。 5 / 60 : 5 秒 (5 の場合) または 60 秒 (60 の場合) トランシーバーが傾き続けると、エマージェンシー機能が動作します。		OFF / 5 / 60
 VI ^{-SET-} BC	バイブレーター 信号を受信した時に、バイブレーターを振動させることができます。 OFF : バイブレーターは動作しません。 2 / 20 : 2 回 (2 の場合) または 20 回 (20 の場合)、バイブレーターが振動します。 CONT : いずれかのボタンを押すまでバイブレーターが振動を続けます。		OFF / 2 / 20 / CONT

ローンワーカー機能

トランシーバー使用者の安全を確認する機能で、設定された時間の間トランシーバーの操作が行われなかった時は、トランシーバー使用者に何らかの事故が発生したとみなし、アラームが鳴ります。
そのままトランシーバーの操作を行わないで約 50 秒経過すると、エマージェンシー機能が動作*します。
※工場出荷時の設定では、最大音量で緊急アラームが鳴ります。

- 補足**
- アラームは自動的に音量が大きくなります（4 段階）。
 - アラームはトランシーバーを操作（音量調節以外の操作）すると停止します。
 - エマージェンシー機能は、次のいずれかの動作に変更することができます。詳細は取扱説明書（応用編）の“アラームで緊急を知らせる（エマージェンシー機能）”を参照してください。
 - ◎最大音量で緊急アラームが鳴ります。
 - ◎緊急アラームは鳴らずに、自動で緊急連絡用チャンネルに切り替わります。
 - ◎最大音量で緊急アラームが鳴り、自動的に送信状態になります。
 - ◎最大音量で緊急アラームが鳴り、自動的に送信状態になり、LED インジケータを点滅させます。

- 一度電源を切り、[ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“LONE”の表示にして、[CUE] ボタンを押します。
“LONE”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して、エマージェンシー機能が動作するまでの時間を選びます。
05/1/2/4（時間）：選択した時間の間トランシーバーの操作が行われないとアラームが鳴り、その後エマージェンシー機能が動作します。
OFF：ローンワーカー機能は動作しません。
- PTT（通話）スイッチを押します。
通常の画面に戻り、ローンワーカー機能が動作します。

■ ローンワーカー機能をやめる

- 上記と同じ操作を行い、手順3で“OFF”の表示にします。
- PTT（通話）スイッチを押します。
ローンワーカー機能が OFF になります。

マンドアウン機能

トランシーバー使用者の安全を確認する機能で、設定された時間トランシーバーが約 60 度以上傾き続けた時は、トランシーバー使用者が倒れたなどの事故が発生したとみなし、アラームが鳴ります。
そのままトランシーバーの操作を行わないで約 50 秒経過すると、エマージェンシー機能が動作*します。
※工場出荷時の設定では、最大音量で緊急アラームが鳴ります。

- 補足**
- アラームは自動的に音量が大きくなります（4 段階）。
 - アラームはトランシーバーを操作（音量調節以外の操作）すると停止します。
 - エマージェンシー機能は、次のいずれかの動作に変更することができます。詳細は取扱説明書（応用編）の“アラームで緊急を知らせる（エマージェンシー機能）”を参照してください。
 - ◎最大音量で緊急アラームが鳴ります。
 - ◎緊急アラームは鳴らずに、自動で緊急連絡用チャンネルに切り替わります。
 - ◎最大音量で緊急アラームが鳴り、自動的に送信状態になります。
 - ◎最大音量で緊急アラームが鳴り、自動的に送信状態になり、LED インジケータを点滅させます。

- 一度電源を切り、[ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“MAND”の表示にして、[CUE] ボタンを押します。
“MAND”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して、エマージェンシー機能が動作するまでの時間を選びます。
5/60（秒）：選択した時間の間トランシーバーが約 60 度以上傾き続けるとアラームが鳴り、その後エマージェンシー機能が動作します。
OFF：マンドアウン機能は動作しません。
- PTT（通話）スイッチを押します。
通常の画面に戻り、マンドアウン機能が動作します。

■ マンドアウン機能をやめる

- 上記と同じ操作を行い、手順3で“OFF”の表示にします。
- PTT（通話）スイッチを押します。
マンドアウン機能が OFF になります。

設定を他のトランシーバーにコピーする（クローン機能）

設定した内容をワイヤレスで他の複数台の SR235 に一斉コピーできます。



- 注意**
- 雑音の多い場所でクローン機能を実行した場合、正常にコピーできない場合があります。
 - 送り側と受け側を 1m 以内に近づけてクローン機能を実行してください。

■ クローンの準備をする

送り側（クローン元）と受け側（クローン先）の全てのトランシーバーに以下の操作を行います。

- 一度電源を切り、[CUE] ボタンと [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [CUE] ボタンを長押しします。
画面に“CLON”が表示されます。

■ クローンを行う

◎ 送り側（クローン元）

PTT（通話）スイッチを押します。
画面に“CL-TX”が表示されて、設定データを送出します。

◎ 受け側（クローン先）

操作は不要です。
送り側が送出した設定データを受信すると画面に“CL-RX”が表示されて、設定内容が正常にコピーされると「ビッ」と音が鳴り、通常の画面に戻ります。

- 補足**
- 通常の画面に戻らずに「ブッ」と音が鳴り“CLONE”の表示画面に戻った時は、初めからやり直してください。

クローンを終了する時は、送り側と受け側の電源を切ります。

モニター機能

相手の電波が弱くて音声が届いて聞こえる場合“モニター機能”を使用すると、相手の音声が届きやすくなる場合があります。

- 一度電源を切り、[ ▼] と [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
 - モニター機能が動作します。
 - 信号が無い時は常に“ザー”という雑音が聞こえます。
- 電源を切るとモニター機能は解除されます。

正常に動かない時（オールリセット）

ボタンを押しても反応しない時や、「故障かな？と思うまえに・・・」の項目に従って点検しても正常に動作しない時は、次の操作で本機をオールリセットしてください。

- 注意**
- オールリセットを行うと、登録および設定した内容はすべて消され、工場出荷時の“初期値”に戻ります。

- 電源を切ります。
- [ ▼]/[CUE]/[ SET] のボタンを同時に押しながら電源を入れます。
- 「ビッ」と鳴り、オールリセットは終了します。

故障かな？と思うまえに・・・

間違った操作をしていませんか？修理を依頼される前にお確かめください。

- ◎ 電源が入らない！
 - ・電池は充電されていますか？
- ◎ 送信できない！
 - ・PTT（通話）スイッチを正しく押していますか？
 - ・送信禁止機能が ON になっていませんか？
 - ・相手が話中ではありませんか？
 - ・信号を受信して LED インジケータが緑色に点灯している時は送信できません。
 - ・外部マイク使用の場合、接続部分がきちんと最後まで締めこまれていますか？

- ◎ 通話できない！
 - ・相手と同じ通話モード（ノーマルモード、グループモード）に設定していますか？
 - ・相手と同じチャンネルに設定していますか？
 - ・相手と同じグループ番号に設定していますか？
 - ・相手との距離が離れすぎていませんか？

- ◎ 勝手に電源が切れる！
 - ・オートパワーオフ機能が設定されていませんか？
 - ・電池が消耗していませんか？

- ◎ グループモードで運用中に他の人の通話が聞こえる！
 - ・モニター機能になっていませんか？
 - 一度電源を切り、再度電源を入れると解除されます。
 - ・他の人も同じグループコードや DCS コードを使用している場合があります。
 - グループコード、DCS コードを変えてください。

オプション

- 注意**
- オプションの取り付け / 取り外しは、必ずトランシーバーの電源を OFF にしてから行ってください。

- ◎ Bluetooth® ヘッドセット.....SSM-BT10
- ◎ シングル充電器（USB ケーブル / AC アダプタ付属）..SAD-4327B * 1
 - ※ 1：付属品と同等

- ◎ 工事ヘルメット用ヘッドセットSSM-60H * 2
- ◎ インターコム型ヘッドセットSSM-68H * 2
 - ※ 2：PTT ケーブル SCU-11 を接続して本体に装着します

- ◎ PTT ケーブル.....SCU-11
- ◎ VOX ヘッドセットSSM-64A
- ◎ 小型タイピンマイク&イヤホン（ストレートコードタイプ）
 - 耳かけ式オープンエア型.....SSM-59ASA
 - オープンエア型.....SSM-59BSA
 - 耳かけ式大型オープンエア型.....SSM-59CSA
 - カナル型.....SSM-59DSA

- ◎ 小型タイピンマイク&イヤホン（カールコードタイプ）
 - 耳かけ式オープンエア型.....SSM-59ACA
 - 耳かけ式大型オープンエア型.....SSM-59CCA
- ◎ 小型タイピンマイク（耳かけイヤホンタイプ）.....MH-381A4B
- ◎ 小型タイピンマイク&イヤホン（イヤホン交換が可能）
 - 耳かけ式大型オープンエア型.....SSM-58ASA
 - 耳かけ式カナル型（イヤホン：ブラック）.....SSM-58BTA
 - 耳かけ式カナル型（イヤホン：グレー）.....SSM-58CTA
- ◎ 小型タイピンマイク（耳かけイヤホンタイプ）.....EK-313-107
- ◎ 防浸型スピーカーマイクMH-73A4B
- ◎ スピーカーマイク.....SSM-17H
- ◎ ブームマイクイヤホン（耳かけイヤホンタイプ）.....SSM-510SA

- ◎ イヤホン（ストレートコードタイプ）
 - 耳かけ式オープンエア型.....SEP-41ASA
 - オープンエア型.....SEP-41BSA
 - 耳かけ式大型オープンエア型.....SEP-41CSA
 - カナル型.....SEP-41DSA

- ◎ イヤホン（カールコードタイプ）
 - 耳かけ式オープンエア型.....SEP-41ACA
 - 耳かけ式大型オープンエア型.....SEP-41CCA

- ◎ イヤホン（SSM-58 用交換イヤホン）
 - 耳かけ式大型オープンエア型.....SEP-42ATH
 - 耳かけ式カナル型（ブラック）.....SEP-42BTH
 - 耳かけ式カナル型（グレー）.....SEP-42CTH
- ◎ イヤホンアダプタ（φ 3.5mm ミニプラグイヤホン接続用）...SCU-12
- ◎ キャリングケース.....SHC-39
- ◎ ワンタッチリリースホルスター.....SHB-22
- ◎ ステンレスベルトクリップ.....SHB-24 * 3
 - ※ 3：トランシーバー背面への取付け、または SHB-22 用のクリップとして使用できます

定格

送受信周波数（12.5kHz ステップ）
交互通話（単信）
1ch ～ 9ch：422.2000MHz ～ 422.3000MHz
01ch ～ 11ch：422.0500MHz ～ 422.1750MHz
中継装置使用時（半複信）
10ch ～ 18ch：送信 440.2625MHz ～ 440.3625MHz
受信 421.8125MHz ～ 421.9125MHz
12ch ～ 29ch：送信 440.0250MHz ～ 440.2375MHz
受信 421.5750MHz ～ 421.7875MHz

電波型式：F2D、F3E
通信方式：単信方式および半複信方式
送信出力：10mW 以下
受信感度：－ 13dBμV 以下（@ 12dB SINAD）
低周波出力：500mW 以上（10% 歪時）
動作温度範囲：－ 10℃～＋ 50℃
定格電圧：DC 3.6V
本体寸法：約 47 × 80 × 22mm
（幅×高さ×奥行き：アンテナおよび突起部を含みます）
本体重量：約 110g（ベルトクリップを除く）

※この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。
※ RoHS 指令準拠

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

八重洲無線株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル
TEL：03-6711-4055

- ◎ 保証期間はお買い上げの日より 3 年間です。
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。
誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。
内蔵電池は消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外になります。
- ◎ 保証書は大切に保管してください。
保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。
また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入してない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。
- ◎ 内蔵電池は消耗品です。
充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。内蔵電池の交換（有償）は、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください。

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています。